

令和3年度 地域包括支援センター運営状況（事業報告及び決算報告）

1 運営の概況

高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい尊厳ある生活を継続するよう支援していく中核機関として、4か所の地域包括支援センターと5か所のブランチを設置し、介護保険制度による公的サービスのみならず、その他のインフォーマルな社会資源を本人が活用できるように、包括的及び継続的な支援を行った。

本年度から佐渡中地域包括支援センターを社会福祉法人愛宕福祉会に委託し、それに伴う圏域の変更を行った。また、高齢福祉課内に「福祉の総合相談窓口」を設置し、各地域包括支援センターの後方支援を含めた基幹的業務を行った。

各地域包括支援センターと市で情報共有し、連携を図りながら地域課題の把握や解決に向けて関係機関とのネットワークの構築に努めた。

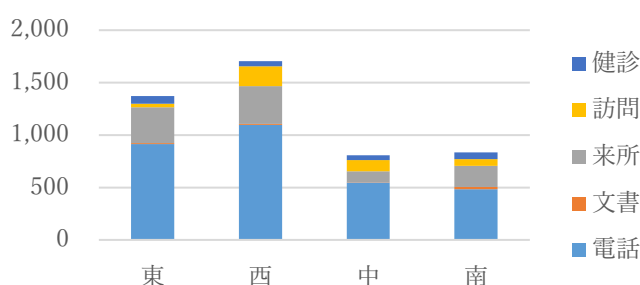
2 相談・活動の状況

地域包括支援センター業務報告より、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの件数を集計した。（資料2-2参照）

(1) 相談件数

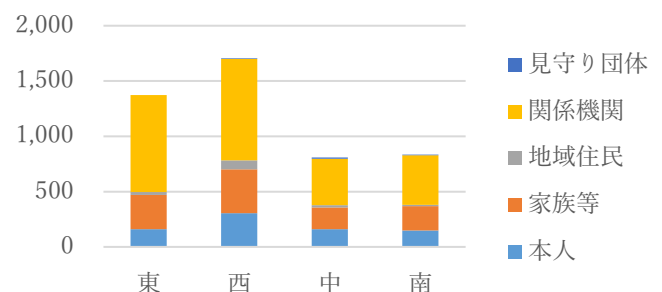
- ・地域包括支援センターの周知として、パンフレット・ポスターの掲示、回覧文書の配布に加え、地域の茶の間・サロン、老人クラブの会議等地域の集まりや民生委員児童委員協議会定例会に参加した。
- ・包括業務における平日・日中の相談受理件数では、電話による相談が6割を超え、次いで来所による相談となっている。相談経路では関係機関からの相談が5割を超え、次いで家族等からの相談となっている。
- ・包括業務における時間外等の相談受理件数では、休日の日中が最も多く、相談経路では家族等から連絡が多い。
- ・認知症による相談は、2割を超えている。

包括業務相談受理件数
(平日・日中)



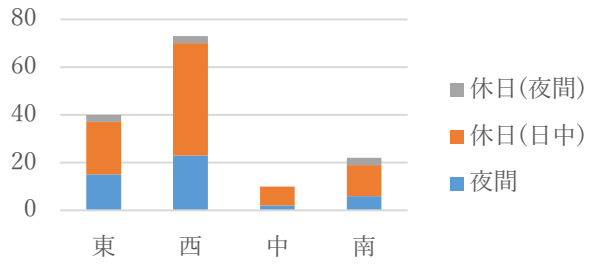
| | 電話 | 文書 | 来所 | 訪問 | 健診 |
|----|-------|----|-------|-----|-----|
| 東 | 913 | 9 | 343 | 35 | 72 |
| 西 | 1,098 | 8 | 361 | 190 | 48 |
| 中 | 549 | 3 | 101 | 107 | 48 |
| 南 | 482 | 23 | 201 | 65 | 62 |
| 合計 | 3,042 | 43 | 1,006 | 397 | 230 |

包括業務相談経路
(平日・日中)



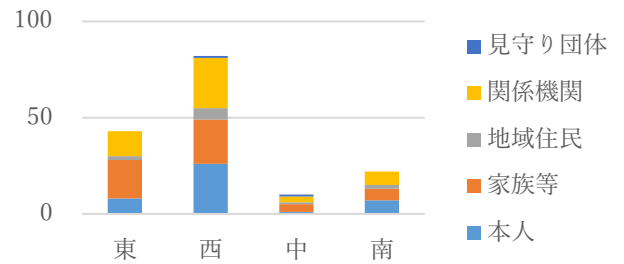
| | 本人 | 家族等 | 地域住民 | 関係機関 | 見守り団体 |
|----|-----|-------|------|-------|-------|
| 東 | 159 | 311 | 26 | 876 | 0 |
| 西 | 305 | 396 | 81 | 919 | 4 |
| 中 | 160 | 198 | 20 | 420 | 10 |
| 南 | 150 | 218 | 12 | 450 | 3 |
| 合計 | 774 | 1,123 | 139 | 2,665 | 17 |

包括業務相談受理件数
時間外（夜間・休日）



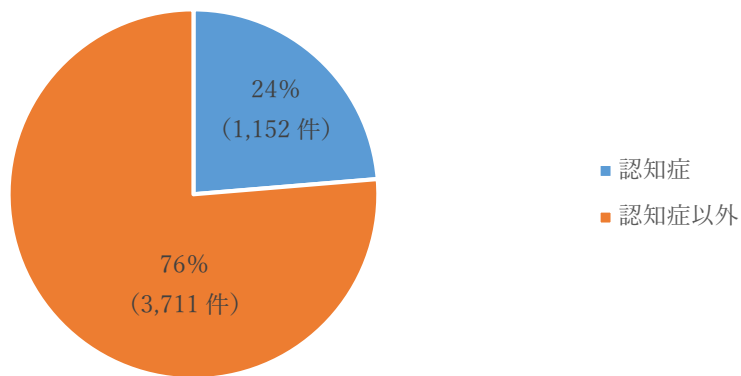
| | 夜間 | 休日(日中) | 休日(夜間) |
|----|----|--------|--------|
| 東 | 15 | 22 | 3 |
| 西 | 23 | 47 | 3 |
| 中 | 2 | 8 | 0 |
| 南 | 6 | 13 | 3 |
| 合計 | 46 | 90 | 9 |

包括業務相談経路
（夜間・休日）



| | 本人 | 家族等 | 地域住民 | 関係機関 | 見守り団体 |
|----|----|-----|------|------|-------|
| 東 | 8 | 20 | 2 | 13 | 0 |
| 西 | 26 | 23 | 6 | 26 | 1 |
| 中 | 1 | 4 | 1 | 3 | 1 |
| 南 | 7 | 6 | 2 | 7 | 0 |
| 合計 | 42 | 53 | 11 | 49 | 2 |

相談受理件数のうち認知症割合（包括業務）



(2) 総合相談支援・権利擁護

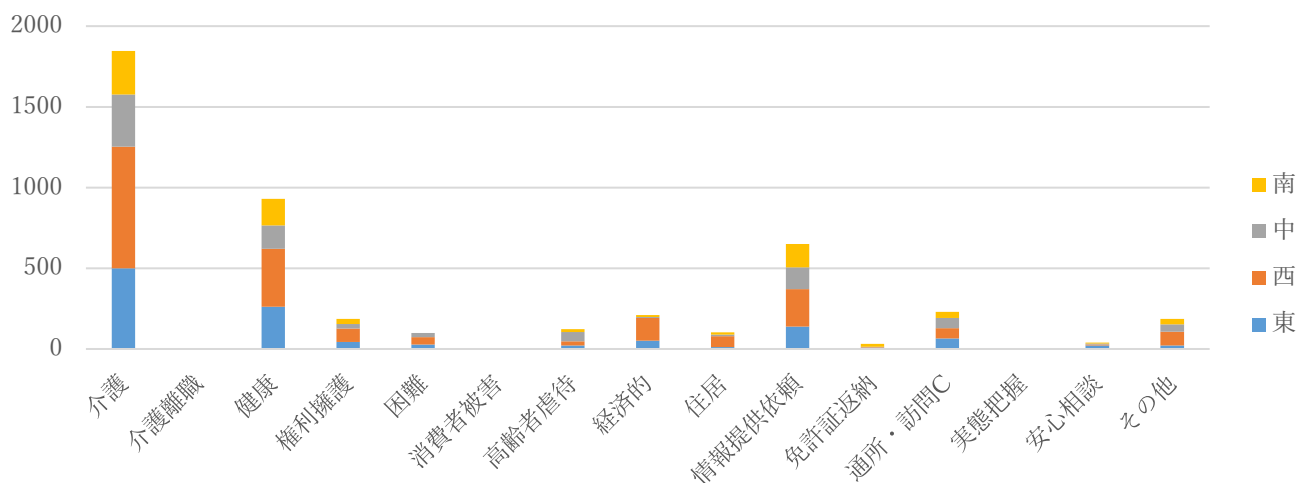
高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるように、総合相談、実態把握等で必要な支援を把握し、適切なサービスや関係機関及び制度の利用に繋げるとともに、地域の関係機関とのネットワークの構築を図った。

併せて個人が保有している権利侵害の予防・発見、権利保障に向けた対応を行った。

【総合相談支援】

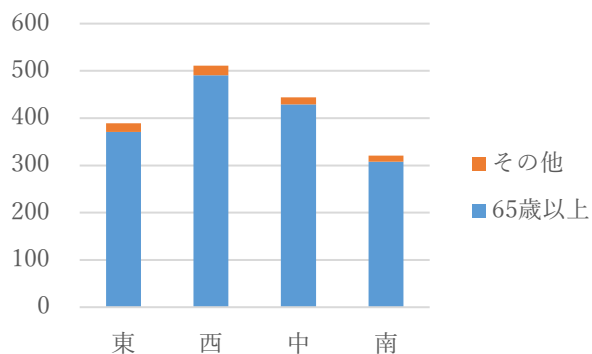
- ・相談受理件数は前年度と比較すると微減となった。内容は介護や健康に関する相談が多い。
- ・相談受理件数のうち介護に関する相談が約4割を占め、介護認定申請手続きから関わるケースが多くみられる。
- ・高齢者だけでなく、その家族に対して様々な支援が必要なケースもあり、家族全体の支援について関係機関と連携し対応した。

総合相談内容（延べ件数 ※総合相談+包括的・継続的ケアマネジメント）



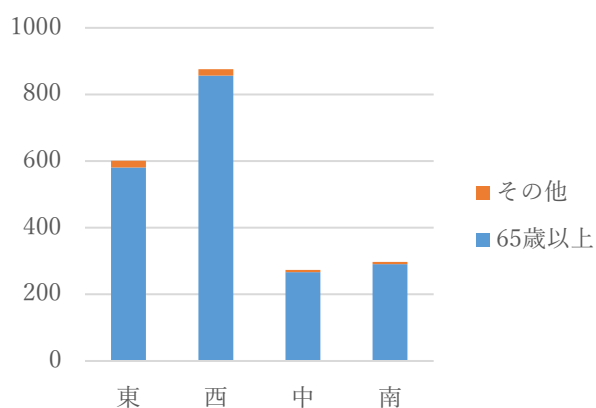
| | 介護 | 介護離職 | 健康 | 権利擁護 | 困難 | 消費者被害 | 高齢者虐待 | 経済的 | 住居 | 情報提供依頼 | 免許証返納 | 通所・訪問C | 実態把握 | 安心相談 | その他 |
|----|-------|------|-----|------|-----|-------|-------|-----|-----|--------|-------|--------|------|------|-----|
| 東 | 500 | 1 | 262 | 43 | 28 | 3 | 21 | 52 | 11 | 138 | 4 | 65 | 0 | 21 | 21 |
| 西 | 754 | 1 | 358 | 84 | 46 | 1 | 27 | 140 | 68 | 232 | 6 | 64 | 0 | 6 | 86 |
| 中 | 322 | 0 | 146 | 27 | 26 | 0 | 58 | 7 | 11 | 136 | 4 | 64 | 4 | 7 | 45 |
| 南 | 271 | 0 | 165 | 33 | 0 | 0 | 17 | 11 | 14 | 144 | 18 | 37 | 0 | 6 | 34 |
| 合計 | 1,847 | 2 | 931 | 187 | 100 | 4 | 123 | 210 | 104 | 650 | 32 | 230 | 4 | 40 | 186 |

総合相談支援実件数(新規)



| | 65歳以上 | その他 |
|----|-------|-----|
| 東 | 371 | 18 |
| 西 | 491 | 20 |
| 中 | 429 | 15 |
| 南 | 308 | 13 |
| 合計 | 1,599 | 66 |

総合相談支援実件数 (継続)

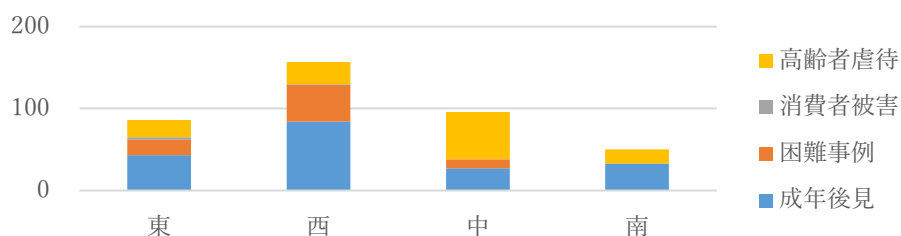


| | 65歳以上 | その他 |
|----|-------|-----|
| 東 | 581 | 20 |
| 西 | 857 | 19 |
| 中 | 267 | 6 |
| 南 | 291 | 6 |
| 合計 | 1,996 | 51 |

【権利擁護】

- ・ 困難ケースの中には、8050 問題や社会的に孤立している世帯など、複合的な課題や、制度の狭間でサービスを受けることができないなど、包括的な取組みが必要となるケースが増加している。
- ・ 成年後見制度に関する相談は、関係機関だけでなく、島外に住む親族からも多くなっている。判断能力の低下に伴い、生活に支障が生じたり、身寄りがいない、いとも高齢等の理由により支援が得られず、様々なサービス利用を受けるにあたり調整が必要なケースが多い。そのため成年後見制度以外にも利用可能な支援策について提案している。また、成年後見制度の申立て及び市長申立ての件数は増加傾向にある。
- ・ 高齢者虐待通報数は横ばいの状況であり、「佐渡市高齢者虐待マニュアル」に沿って対応している。早期の相談・通報により事態が深刻化する前に関係機関と連携を図り対応した。

権利擁護 (再掲)



| | 成年後見 | 困難事例 | 消費者被害 | 高齢者虐待 |
|----|------|------|-------|-------|
| 東 | 43 | 19 | 3 | 21 |
| 西 | 84 | 45 | 1 | 27 |
| 中 | 27 | 11 | 0 | 58 |
| 南 | 33 | 0 | 0 | 17 |
| 合計 | 187 | 75 | 4 | 123 |

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

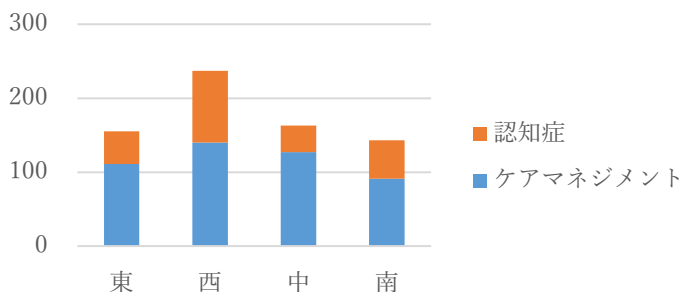
高齢者一人ひとりの状況に応じ、様々な支援を組み合わせ、継続的にフォローアップするため、医療機関、ケアマネジャーとの連携や、地域を基盤とした在宅と施設の支援体制の構築を図り、困難事例に対して相談や助言を実施した。

また、介護支援専門員の資質の向上を図る観点から、関係機関と連携のうえ、情報提供や研修会を実施した。

- ・ 困難事例等の相談や助言等、相談支援件数が増加している。また、相談の4割が認知症に関する相談であった。
- ・ 担当圏域包括ケア会議や地域ケア個別会議等で地域の課題を洗い出し、対応について関係機関と協議、検討を行った。
- ・ 介護支援専門員からのニーズや課題に基づいて、介護報酬改定の概要やICFを活用したプランニングの視点、災害時の対応についての研修会を実施した。なお、コロナ禍のため、一部オンラインも活用した。
- ・ 介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めるとともに、地域包括支援ネットワークの構築及び個別ケースの課題分析を積み重ねることによって、地域の課題を把握することを目的に地域ケア個別会議を開催した。特に多職種視点を生かした利用者の自立支援・重症化予防の観点から、介護予防のための地域ケア個別会議に参画した。

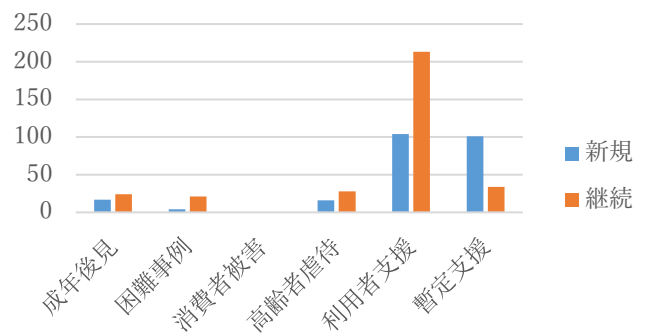
包括的・継続的ケアマネジメント

相談支援件数



| | ケアマネジメント | 認知症 |
|----|----------|-----|
| 東 | 111 | 44 |
| 西 | 140 | 97 |
| 中 | 127 | 36 |
| 南 | 91 | 52 |
| 合計 | 469 | 229 |

権利擁護等 (再掲)



| | 成年後見 | 困難事例 | 消費者被害 | 高齢者虐待 | 利用者支援 | 暫定支援 |
|----|------|------|-------|-------|-------|------|
| 新規 | 17 | 4 | 0 | 16 | 104 | 101 |
| 継続 | 24 | 21 | 0 | 28 | 213 | 34 |

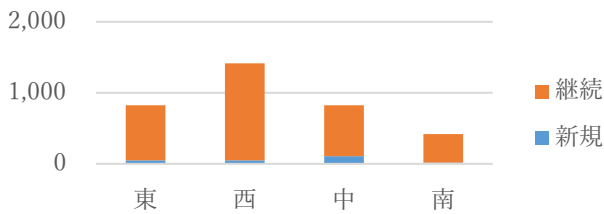
(4) 介護予防ケアマネジメント業務

要支援者及び基本チェックリストの内容が、総合事業の対象基準に該当した方に対し、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを実施した。

- ・総合事業、予防給付の新規利用者が増加傾向にある。
- ・総合事業C型サービスについては、継続利用を希望している方が多く、重度化防止や介護予防に繋がっている。特に運動に関する教室の需要が高い。
- ・令和3年度には、健診会場での相談から総合事業C型サービスに繋がった人がいる。

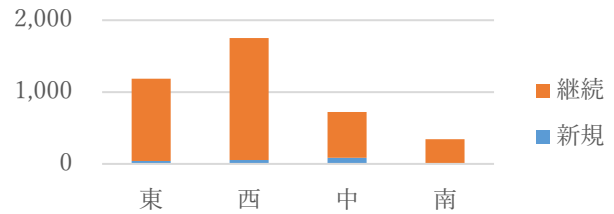
介護予防ケアマネジメント作成件数

介護予防ケアマネジメント
(総合事業)



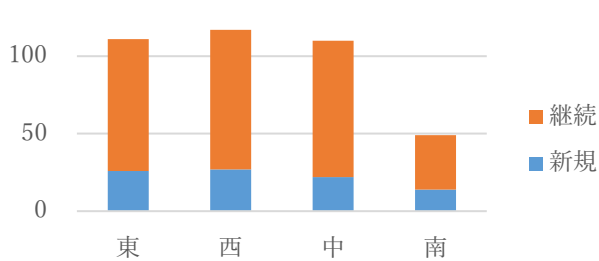
| | 新規 | 継続 |
|----|-----|-------|
| 東 | 49 | 777 |
| 西 | 48 | 1,367 |
| 中 | 108 | 717 |
| 南 | 16 | 402 |
| 合計 | 221 | 3,263 |

介護予防ケアマネジメント
(予防給付)



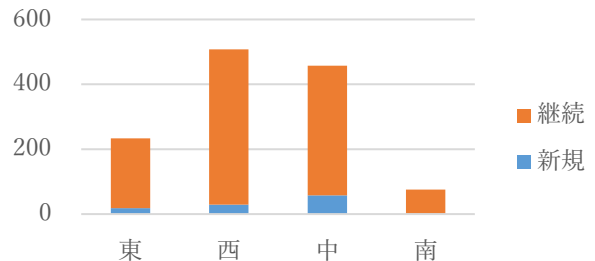
| | 新規 | 継続 |
|----|-----|-------|
| 東 | 40 | 1,147 |
| 西 | 52 | 1,702 |
| 中 | 87 | 637 |
| 南 | 7 | 338 |
| 合計 | 186 | 3,824 |

介護予防ケアマネジメント
(C型サービス)



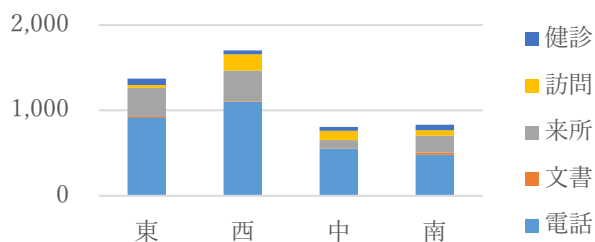
| | 新規 | 継続 |
|----|----|-----|
| 東 | 26 | 85 |
| 西 | 27 | 90 |
| 中 | 22 | 88 |
| 南 | 14 | 35 |
| 合計 | 89 | 298 |

委託 (再掲)
(総合事業+予防給付)



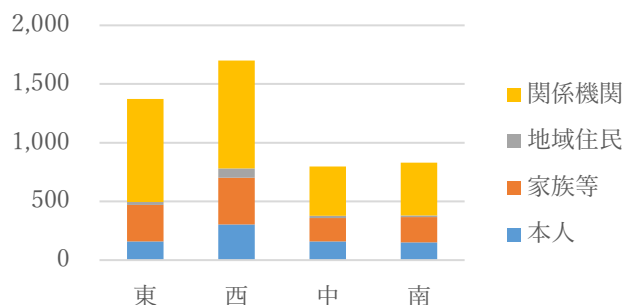
| | 新規 | 継続 |
|----|-----|-------|
| 東 | 18 | 215 |
| 西 | 29 | 479 |
| 中 | 58 | 399 |
| 南 | 2 | 74 |
| 合計 | 107 | 1,167 |

予防給付・総合事業
相談受案件数
(平日・日中)



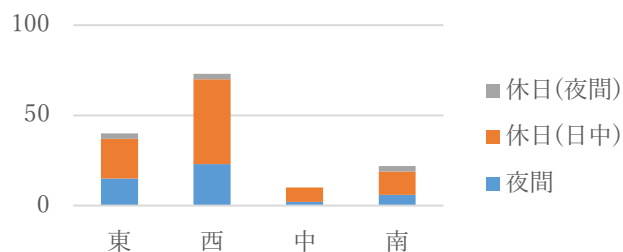
| | 電話 | 文書 | 来所 | 訪問 | その他 | 合計 |
|----|-------|----|----|-----|-----|-------|
| 東 | 437 | 0 | 39 | 148 | 4 | 628 |
| 西 | 736 | 5 | 29 | 31 | 0 | 801 |
| 中 | 334 | 3 | 16 | 80 | 5 | 438 |
| 南 | 275 | 0 | 14 | 30 | 0 | 319 |
| 合計 | 1,782 | 8 | 98 | 289 | 9 | 2,186 |

予防事業・総合事業相談経路
(平日・日中)



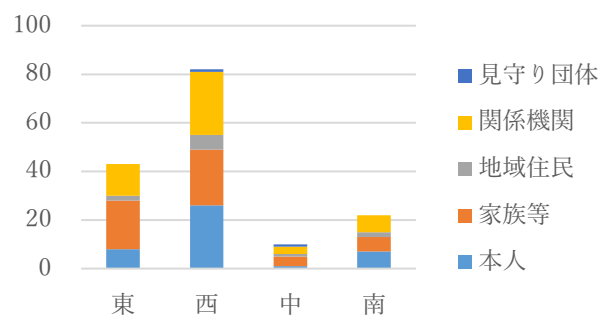
| | 本人 | 家族等 | 地域住民 | 関係機関 | 見守り団体 |
|----|-----|-----|------|------|-------|
| 東 | 346 | 150 | 0 | 132 | 0 |
| 西 | 163 | 160 | 6 | 472 | 0 |
| 中 | 122 | 81 | 1 | 234 | 0 |
| 南 | 91 | 74 | 15 | 137 | 2 |
| 合計 | 722 | 465 | 22 | 975 | 2 |

予防事業・総合事業
相談受案件数
時間外 (夜間・休日)



| | 夜間 | 休日(日中) | 休日(夜間) |
|----|----|--------|--------|
| 東 | 12 | 59 | 5 |
| 西 | 17 | 23 | 4 |
| 中 | 5 | 27 | 0 |
| 南 | 7 | 23 | 1 |
| 合計 | 41 | 132 | 10 |

予防事業・総合事業相談経路
(夜間・休日)



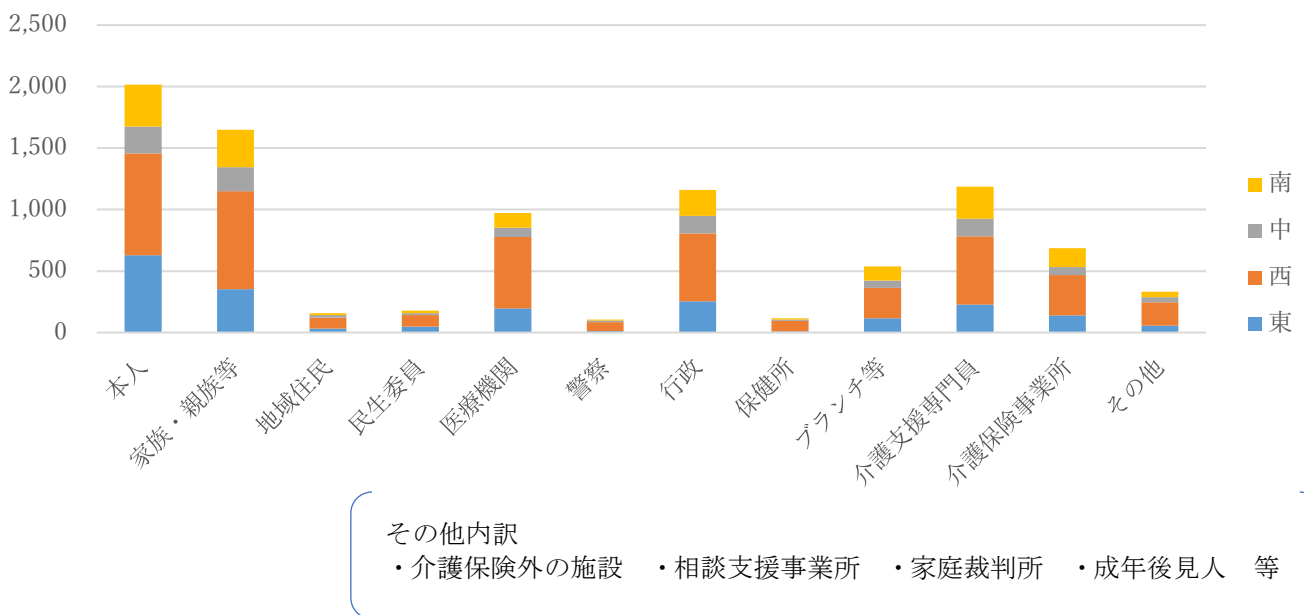
| | 本人 | 家族等 | 地域住民 | 関係機関 | 見守り団体 |
|----|----|-----|------|------|-------|
| 東 | 46 | 22 | 0 | 12 | 2 |
| 西 | 22 | 11 | 0 | 16 | 0 |
| 中 | 8 | 4 | 0 | 20 | 0 |
| 南 | 18 | 5 | 0 | 9 | 0 |
| 合計 | 94 | 42 | 0 | 57 | 2 |

(5) 対応及び連絡調整

地域の保健・福祉・医療サービス及びインフォーマルサービス等の様々な社会資源と連携し対応した。

- ・相談ケースに対応するため本人や家族への働きかけや、関係機関へサービスに関する導入や調整を図るものが多かった。
- ・困難事例については、多数の関係機関と連携し対応した。
- ・入院している方の相談が増加しており、医療機関への連絡や対応は年々増加傾向にある。

連絡調整（電話・来訪・文書）



| | 本人 | 家族・親族等 | 地域住民 | 民生委員 | 医療機関 | 警察 | 行政 | 保健所 | ランチ等 | 介護支援専門員 | 介護保険事業所 | その他 |
|----|-------|--------|------|------|------|-----|-------|-----|------|---------|---------|-----|
| 東 | 628 | 354 | 32 | 49 | 197 | 13 | 255 | 9 | 116 | 228 | 140 | 55 |
| 西 | 829 | 796 | 90 | 94 | 579 | 71 | 552 | 87 | 247 | 555 | 327 | 192 |
| 中 | 219 | 196 | 20 | 15 | 78 | 15 | 141 | 9 | 59 | 142 | 65 | 40 |
| 南 | 341 | 302 | 15 | 20 | 118 | 7 | 212 | 10 | 115 | 262 | 154 | 46 |
| 合計 | 2,017 | 1,648 | 157 | 178 | 972 | 106 | 1,160 | 115 | 537 | 1,187 | 686 | 333 |

(6) ブランチ業務

ブランチは、住民の利便性を考慮し、地域包括支援センターにつなぐための窓口として、相川・新穂・真野・小木・赤泊に設置されている。

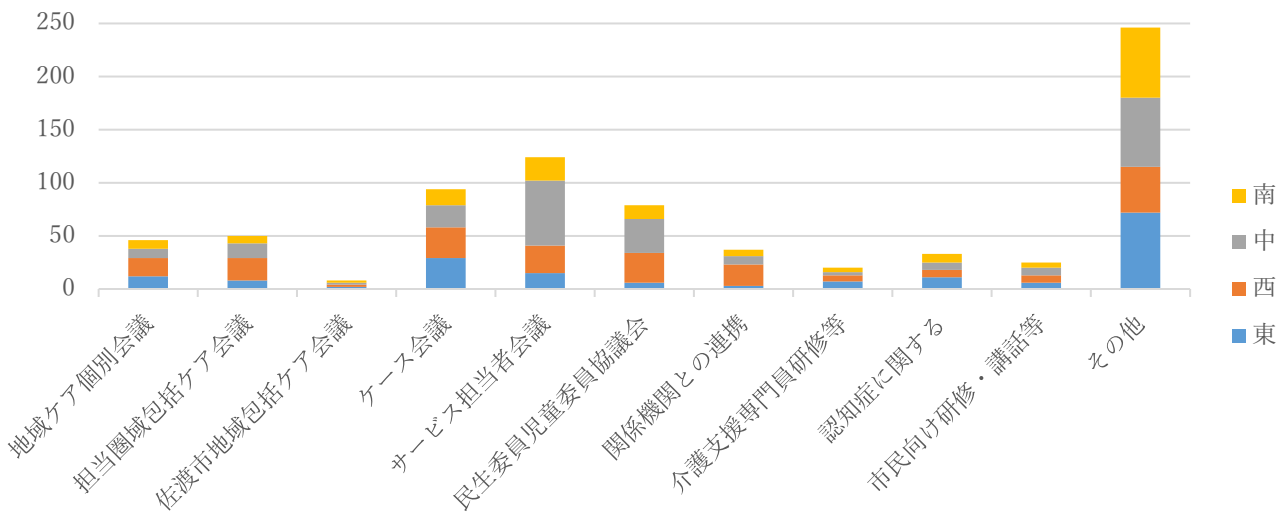
- ・ブランチで受理する相談は、地域包括支援センターへつなぎ対応している。
- ・高齢者実態把握事業で高齢者の状況を把握した。

(7) 会議・研修会等の状況

地域の課題について関係者を招集した会議を開催・参加をし、ネットワークの構築に努めた。

- ・地域のサロンや茶の間に参加し、介護予防を含めた健康教室を実施した。
- ・市民向け高齢者虐待防止研修会を実施した。
- ・民生委員児童委員協議会に参加し、顔の見える関係づくりに努めた。

会議・研修等の開催・出席状況



〔その他：運営推進会議（施設）・職種別連絡会・業務説明会・高齢者処遇検討会等〕

| | 地域ケア個別会議 | 担当圏域包括ケア会議 | 佐渡市地域包括ケア会議 | ケース会議 | サービス担当者会議 | 民生委員児童委員協議会 | 関係機関との連携 | 介護支援専門員研修等 | 認知症に関する | 市民向け研修・講話等 | その他 |
|----|----------|------------|-------------|-------|-----------|-------------|----------|------------|---------|------------|-----|
| 東 | 12 | 8 | 2 | 29 | 15 | 6 | 3 | 7 | 11 | 6 | 72 |
| 西 | 17 | 21 | 2 | 29 | 26 | 28 | 20 | 6 | 7 | 7 | 43 |
| 中 | 9 | 14 | 2 | 21 | 61 | 32 | 8 | 3 | 7 | 7 | 65 |
| 南 | 8 | 7 | 2 | 15 | 22 | 13 | 6 | 4 | 8 | 5 | 66 |
| 合計 | 46 | 50 | 8 | 94 | 124 | 79 | 37 | 20 | 33 | 25 | 246 |

3 課題等

(1) 令和3年度の課題に対する評価等

- ① 佐渡中地域包括支援センターの設置による事業所の移転と担当圏域のエリア変更を住民に周知する。総合相談や高齢者虐待などの権利擁護・認知症の相談機関として事業の継続がスムーズに行えるようにする。
⇒ 本年度から、畑野母子健康センター内に、新穂・畑野・真野圏域を管轄する佐渡中地域包括支援センターを設置し、市報、ホームページ、チラシ、ポスター、回覧文書での周知に加え、地域の茶の間やサロン、老人クラブの会議をはじめとする地域の集まりや民生委員児童委員協議会定例会に参加するなど広く周知した。
- ② 8050問題や社会的に孤立している世帯など、複合的な課題や将来不安などに対し、多機関と連携しながら包括的な取り組みが必要となるケースが多くある。
また、成年後見制度の周知が進み相談が増加していることもあり、後見人受任が困難な状況も見られる。「新潟県高齢者権利擁護相談支援事業」などを活用しながら多角的に検討し、よりよい方法を検討していく。
⇒ 複合的な課題を有するケースに対しては、地域ケア個別会議を活用し、多職種による検討を重ねながら課題解決のためのアプローチを進めたことにより、新潟県高齢者権利擁護相談支援事業を活用するケースはなかった。
成年後見制度に関する相談や申立て、新潟家庭裁判所佐渡支部への申立ては増加傾向にあるが、後見受任者が不足しているのが現状である。
佐渡市成年後見センターが、市民後見人の養成などの役割を担っていることから、成年後見センター等と連携を図りながら支援を進めた。
- ③ 介護予防の観点で、自立支援や重度化防止に向けたケアマネジメントの展開が求められている。「介護予防のための地域ケア個別会議」により多職種との連携を強化するとともに、質の向上を図る。また Web 会議等の活用も進めていく。
⇒ 「介護予防のための地域ケア個別会議」に事例提供等を含め参画することで、多職種の視点でケアプランに関する議論を行い、利用者の自立支援、重症化防止に向けたケアマネジメントの質の向上を図り、積極的に多職種との連携を強化した。